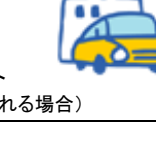
育児 クリニカルパス



ID　　さま

	入院時	入院中　（　　月　　日 ～　　月　　日 ）	退院時
観察	体温、心拍数、呼吸数、尿や便の状態など赤ちゃんの観察を行います。生まれて数時間～数日は保育器に入りますが、体温が保てるようになると、コットへ移ります。		
食事	日齢に合わせた量を授乳しましょう。初めは胃管という栄養チューブを使うこともあります。お口から飲めるようになれば、ボトルで飲む練習や直接授乳をしていきます。 （具体的な量や方法は赤ちゃんによって違います。スタッフと相談しましょう。）		
清潔	生まれたばかりは身体を拭きます。 次の日からは、赤ちゃんの状態に応じて、沐浴とお臍の消毒を毎日行います。		
排泄	便や尿は少量ですが頻回に出ます。授乳の前は必ずオムツを確認します。排便が出にくい場合は、肛門刺激の練習をします。		
診察処置	児の状態に応じて医師が毎日診察をします。		
検査	修正36週以降で簡易ABR（耳の聴こえの検査）、生後5日目で新生児マススクリーニング検査があります。 （ ※ 新生児聴覚スクリーニング検査受診票を入院受付まで提出をお願いします。） 必要に応じて、レントゲンや採血、エコーなどの検査があります。		
薬物療法	ビタミンKの静脈注射や、ケイツーシロップ（ビタミンKの薬）を内服します。 （ケイツーシロップは、決まった日に内服します。）		
説明	入院診療計画書	赤ちゃんの状態については、日中の面会時に主治医が説明を行います。	退院療養計画書
指導	看護師から入院に必要な説明を行います。 ・赤ちゃんのお部屋に入る前や、赤ちゃんに触れる前に、必ず手を洗いましょう。 ・ご家族は赤ちゃんを抱いた状況に不慣れな場合もありますので、抱っこや移動の際に転倒転落に十分注意してください。看護師も配慮させていただきます。 ・必要な場合は、面会中に授乳の方法の指導や、沐浴の指導を受けられます。 （その他、気になることがあれば、いつでもお近くの看護師までご相談ください。）		医師から退院面談を行います。 看護師より外来の受診方法や、退院後の注意点を説明します。 ＜退院時に持参していただくもの＞ ☐ 赤ちゃんのお洋服 ☐ おくるみ ☐ 母子手帳 ☐ ICカード 1枚 ☐ チャイルドシート （自家用車で退院される場合）
目標	1. 日齢に合わせた哺乳ができる。（目標体重2000g以上） 2. 医療者と一緒に、児の状態が安定しているか確認しながら不安なく育児行動が実施できる。 3. ご家族が、転倒転落に注意して赤ちゃんの抱っこや移動を行うことができる。 4. ご家族が、赤ちゃんに触れる前に適切に手洗いができる。		



＊症状・経過によってはスケジュール通りにならない場合があります。予めご了承ください。

2020年6月作成（2024年10月改訂） パス委員会承認　聖隷浜松病院NICU病棟